



IsraAID ヒーリングハートジャパンプロジェクト1年の東北地方活動要約

2012年3月

IsraAIDによる即日発表

壊滅的な被害をもたらした2011年3月11日の大震災から日本は今、丸1年を迎えようとしています。

IsraAIDは引き続き東北地方におけるリハビリテーションのサポートを行っています。この1年間で専門的な心的外傷後ケアのトレーニングコースや、コミュニティ活性プログラム等を著しく拡大してきました。

初めは一つの学校の教師達に焦点を当ててきたIsraAIDの活動が、今では数百名以上の専門家を対象に、そして彼らを通して宮城県や福島県の8コミュニティに点在する30のグループのサポートをするまでに成長してきました。

IsraAIDは地震／津波発生から4日以内に来日し、それ以来組織は現場の変化を日々反映し発展を図ってきました。

初期段階では瓦礫の山となっていた東北地方にて、破壊されてしまった家々の除去や再建築、児童に安全な施設の開放、そして何万人もの生存者や強制退去でシェルター暮らしをしている住民に緊急支援を行ってきました。

時が経つに連れて復興運動が始まり、IsraAIDの活動は数百万人が抱える喪失やトラウマに焦点を当て始めました。

仮設住宅での簡単なアートアクティビティによって、参加した児童や教師達は、震災によるトラウマによって多大なストレスを抱えており、それらを乗り越える為のツールが必要である事が明らかとなりました。

政府や組織は撤去作業や再建築を行い、その他団体は多大な物資寄付をしていたが、その中でも波の上昇で生活全てを飲み込まれてしまう恐怖やショックを失くす手伝いをしている者はごく僅かでした。

イスラエルでは、非常に残念な事に心的外傷は良く知られた現象です。何十年間も続く地域紛争は人口の広範囲に渡ってトラウマ発症の原因となる体験を頻繁にもたらしてきました。結果的に、母国発足の対処メソッドがイスラエルを心的外傷後治療において世界のリーダー的存在へと発展させていきました。

IsraAIDはまずイスラエルより熟練の専門家を連れて、言語／非言語問わず様々な分野のセラピーを互理の人々と共に取り組み、彼らに対処方法と癒しを得るサポートを行いました。

その後体験者の教師や市の代表によって急速に広まった口コミで我々の組織はその他数



IsraAID

The Israel Forum for International Humanitarian Aid

多くのコミュニティに紹介され、‘3.11 震災に影響された誰もが皆関わって行くべき’ 革新的な’プロジェクトとして支持を得ました。

現在、IsraAID は様々なグループと接点を持ち、児童、保護者、日本の専門家（カウンセラー、看護師、ソーシャルワーカーや教師）と活動をしています。

IsraAID のセラピストは日本の専門家や地域サポートグループに治療技術や応用の効くエクササイズを教えています。

ここ数ヶ月間は亘理、石巻や岩沼の仮設住宅エリアにまで IsraAID の活動範囲を伸ばしてきました。

このような常にリスクと隣り合わせのコミュニティは影響を受けた地域から退去を強いられた非常に脆い状態にある家族や個人で構成されています。

IsraAID のチームは地域先導者や組織、市の代表に対し、住民のストレスを和らげ困難に対処する方法を教えています。

2012 年、IsraAID はコミュニティ拡大を含む新しい青年リーダーシップトレーニングプログラムやその他数ある東北開催のアクティビティ等、更にその活動を広めていきます。

IsraAID は開催する全てのプログラムにおいて日本の地方自治体や市町村代表、協力組織と密なパートナーシップを築き、日本の人々に最大限の貢献をし、彼らのリハビリから復興までのサポートを行い続けていきます。

IsraAID は日本で活動するにあたって、下記に挙げる方々の一貫したサポートに心より感謝を表明致します：

The UJA Federation of Greater Toronto

The Jewish Federation of the Metropolitan of Chicago

The Jewish Federations of North America (JFNA)

AJC

ニューヨーク商工会議所

The Jewish Federation of Greater Los Angeles

B'nai B'rith International

The Jewish Federation of Greater Miami

The Jewish Federation of Greater Washington

その他多くの国際的企業

メディアからのお問い合わせは IsraAID の日本担当ディレクター、ヨタム・ポリッツァーにご連絡下さい。

+81-80-3918-3915, yotash@gmail.com